

相模女子大小学部四年生森林教室

10月3日金曜日、秋晴れの箱根芦ノ湖西岸、畑引山国有林90林班で相模女子大小学部4年生56名を迎えて植樹と森林教室を行いました。ここ箱根の国有林で、1973年から続いている、相模女子大小学部の植樹は今年で36回目になります。

今年は風倒木により出来たギャップに、箱根で採取された種子の苗木であるイロハモミジ、ホオノキ、ミズナラ、ヤマボウシ、ヤマザクラ、キハダの6種類の広葉樹60本を、生徒達が2人1組になり持参のスコップで植え、「地球温暖化防止に役立った」と喜んでいました。

記念撮影後、森林教室を行い地球温暖化の説明や森林の役割について話をしたところ生徒達からは「根の大きさはどの位か」「木はどの位の高さに成長するか」「何年くらい生きているのか」など多くの質問がありました。

箱根も朝夕はめっきり寒くなり、これから紅葉の時期になりますが、植えた木はしっかり根付き、来春にはきれいな新緑を見せてくれることを願いました。

